



1年学年だより

発行日：令和2年 3月 24日（火）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦 NO. 11

新年度に向かって

校長代理 白田 淳子

卒業式、修了式をこのような形で迎えることになるとは思いませんでした。本校は来年度になってもほぼ同じメンバーで学校生活が送れるとはいえ、1年間過ごしてきたクラスの最後の思い出作りや、学習のまとめができないことはとても残念です。殊に、3年生のEGGの卒業論文発表会ができなかったことは、3年間の集大成として、みなさんの成長を感じることができるとても大切な行事だっただけに残念でなりません。

私たちはこれまでも多くの困難を経験し、それを乗り越えてきました。デマが原因で、トイレトペーパーが一時店頭から消えてしまいましたが、私は小学生のときに、オイルショックを経験していますので、母とスーパーに開店前から並んだことを思い出しました。また、ある年は冷夏のため米が大凶作で、お米屋さんに行ってもお米が買えませんでした。また、9年前の東日本大震災の時も、コンビニの棚は空っぽ、ガソリンスタンドは休業状態、また、世の中全体が今のようになり自粛ムードで、テレビもニュースや広報映像ばかりが流れている状況になりました。中3のみなさんは、奇しくもその年の4月に小学校入学だったと聞いています。でも、その度に、未来に希望をつなげ、協力し工夫することで、現在の豊かな世の中になるまでみんなで頑張ってきました。

今回の学校の臨時休業の措置は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためですが、以前のいろいろな出来事に比べて、より“世界”を実感させられたように思います。中国で発症した（といわれる）未知の病気に対して、各国の対応はどうだったのか、医療体制は、世界に感染が拡大していったのはなぜ、日本政府はどうすればよかったのか、世界経済は大丈夫か…など、考えるべき課題がいっぱいです。初めて人類が戦うウイルスなのですから正解はありません。でも、だからこそ何ができるかをそれぞれが考え、決断し、実行しているのだと思います。

グローバルな時代といわれます。本校は国際社会で活躍するリーダーの育成を目指す学校です。今まで何となく世界を考えていた人も、今回のことで、学校に毎日通うといった自分の身近な生活も、世界につながっていると実感できたのではないのでしょうか。病気になんてならないに越したことはないし、華やかに門出を祝う卒業式を行いたかったのは当然です。しかし、ひよんなことで本気で世界を考える機会を与えてもらったと思えば、それはそれで貴重な経験です。いつもとは違う経験ですが、それを自分の財産として“国際社会の発展に貢献する人”を目指してください。自分はどんなことで貢献できるのでしょうか。

4月から1つずつ上の学年になります。新年度のための有意義な準備期間としてください。

1学年の先生方より

海崎先生

附属中生活一年目、楽しめましたか?国語の授業で一・二組、学活&道徳リレー、模試や定期テストで三・四組へお邪魔して、飛び交う明るく元気なみんなの声に、足柄でのアクティビティーに見た、屋内に収まり切らないエネルギーを毎日感じました。次年度、今度はそのパワーを、クラスの枠を飛び越えて発揮してください!楽しみにしています。

石井先生

かわいらしい子どもの顔から、逞しい中学生の顔に変わってきましたね。そして、手探り状態の1年生から、附属中の中堅どころ2年生になりますね。初めてできる後輩たちに優しく、時には愛情をもって厳しく接する先輩たちになっていくことでしょう。今できることを精いっぱい楽しんで、夢中になれるものを見つけていきましょう。

山本先生

Hi, everyone. How was the first year at Minami? I really enjoyed English class with you every day. Your smiles gave me a lot of energy. Thank you so much!
Don't forget to wash your hands and have fun at new class:)

蛭田先生

2年生になると教室が4階になりますね。私が南高に来て驚いたのは、校舎からの見晴らしの良さです。4階の教室からは、遠く千葉県房総半島まで一望でき、廊下のつきあたりの窓からは、四季折々の丹沢や富士山の眺望が楽しめます(特に夕暮れ時がすばらしい!)。勉強につかれたときは、そんな雄大な景色を眺めながらぼーっと過ごすのもよいかもしれませんね。引き続き充実したスクールライフを!

三井先生

1に笑顔
2に笑顔
3も4も笑顔で5は爆笑
みんなが嬉しいことも悲しいことも、楽しいことも大変なことも、幸せなこともつらいことも、いろんなことを笑って受け止められる大きな心をもった人になっていきますように...

中山先生

あっという間の1年間、どんな成長があったでしょう。初めての電車通学、クラスメイトや部活の先輩との出会い、、、戸惑うことばかりだったかもしれないけれど、その一つひとつが君たちを強くたくましくしてくれたのだと思います。これからもそう。きっと想像した以上に騒がしい未来がみんなを待ってる!

茂木先生

4月5日の入学式から1年、あっという間でしたね。真新しい制服のずれた校章を付け替えたこと、よく覚えています。初めてだらけの毎日で、右往左往しながら様々な場面で個性をいかし、成長していく姿を近くで見ることができました。もうすぐ2年生になります。ここで1度振り返って自分の課題を見つけ、一層充実した附属中生活にしてください。期待しています!